

2020年度
自己点検・自己評価

学校法人 未来学園
前橋医療福祉専門学校



1. 学校の教育目標

未来学園は医療、福祉分野に必要な専門的知識、技術、態度を養い、実践力を身につけると共に、人間愛を基礎とし、全人的なかかわりや援助、ケアが実践できる医療、福祉従事者を養成する。

教育方針に“Learning Together Thinking Together”を掲げ、教職員一同、保健、医療、福祉の発展のために学生と共に学び、共に考える教育を実践する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 学生募集活動

少子化、医療福祉系進学希望者の減少、高校新卒者の就職率の上昇等の影響により、年々厳しさを増しており、定員確保に向けて次の事項について重点的に募集活動を行った。

- ・学園ホームページの運用及び改訂
- ・学園パンフレット等の作成
- ・進学情報サイトの活用
- ・高校ガイダンス、会場ガイダンスへの参加
- ・オープンキャンパスの開催・内容の充実
- ・Web広告・新聞広告・交通広告への活用
- ・高校、医療機関、福祉施設等への訪問活動
- ・AO入試の実施

(2) 教育活動

教育の質を向上させると共に学生サービスの向上のため、次の事項について重点的に教育活動を行った。

◇授業・実習内容の充実

- ・人間性教育・社会性教育の実践
- ・入学前教育プログラム・初年次教育の充実
- ・教育目標の明確化とキャリア教育
- ・国家試験・検定対策

◇学生サービスの充実

- ・ボランティア活動への参加促進
- ・国際交流の推進

◇教員研修の実施

◇退学防止対策

◇学園行事の実施

◇教育設備・備品の更新と拡充

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

| 評価項目 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1 | | | |
|---|-----------------------------------|---|---|---|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学校における職業教育の特色は何か | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

① 課題

- ・学生や保護者等の関係者に対する教育理念、育成人材像の周知徹底
- ・学科毎に時代に応じて進歩する医療福祉業界に対応できる人材像について明確化
- ・教育内容、実習内容を充実させ、他校との差別化を明確化

② 今後の改善方策

- ・教職員一人ひとりが理念・目的を共有し、広報発信を行う。
- ・教育方針や育成人材像を明確にし、入学後の学生に対して理解を促す。
- ・学生や保護者以外にも高校教員や医療福祉機関等に対し、教育理念や方針の周知を徹底させる。
- ・就職先や実習先から必要な情報収集を行い、AI やロボット技術が進歩する将来に必要な人材像を明確化する。
- ・大学や専門職大学との違いを明確にし、周知を徹底させる。

③ 特記事項

特になし

(2). 学校運営

| 評価項目 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1 | | | |
|---|-----------------------------------|---|---|---|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・人事、給与に関する規程等は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- ・効率的な組織運営と人的資源管理の徹底
- ・医療福祉機関や地域に対する積極的な情報公開

② 今後の改善方策

- ・人工知能や医療福祉機器の進歩により、教育内容を見直し、具体的にする。
- ・効率的な組織運営が行えるように、定期的な会議や打ち合わせを行い、意識を共有する。
- ・各々の能力を適正に把握し、最大限に引き出せるよう管理職者による直接の指導、教育を行う。
- ・ホームページや SNS を活用しながら、学校の取り組みなどを具体的に発信し、広く関係者に理解を促す。

③ 特記事項

特になし。

(3). 教育活動

| 評価項目 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1 | | | |
|--|-----------------------------------|---|---|---|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

| | |
|-------------------------|------------------|
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 4 ③ 2 1 |
|-------------------------|------------------|

① 課題

- ・教育力や学生指導能力に差が出ている。
- ・授業準備や学生対応に時間が割かれ、十分な研修を行えていない。
- ・入学前や初年度教育が不足しており、授業についていけない学生もいる。

② 今後の改善方策

- ・広く求人を募集することで、教育力や学生指導能力の高い教員の確保を行う。
- ・定期的に学内研修を実施し、他学科の教員からも教育のノウハウを得ることで、教育の質を向上させる。
- ・学外への研修を積極的に支援することで、教員の資質向上を図る。
- ・入学前教育や初年度教育を見直し、専門教育に対する理解を深める機会を設ける。

③ 特記事項

新型コロナウイルス感染症拡大により休校措置やオンライン授業導入等の対応を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の状況は未だ予断を許さない状況であるが、コロナ後の社会を見据えた新しい時代に貢献できる人材の育成のため、より質の高い教育を行っていくことが必要である。

(4). 学修成果

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|---|-------------------------------|
| ・就職率の向上が図られているか | 4 (3) 2 1 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 4 (3) 2 1 |
| ・退学率の低減が図られているか | 4 (3) 2 1 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 4 (3) 2 1 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 | 4 (3) 2 1 |

① 課題

- ・就職活動が遅れる学生がおり、就職率が100%となっていない。
- ・国家試験合格率が全国平均を下回る学科もある。
- ・同窓会などの組織がなく、全学的に卒業生の活躍状況を把握できていない。
- ・昨年度よりは退学者数、退学率ともに改善はみられるが、依然として退学者数の多い学科もある。

② 今後の改善方策

- ・早期から就職に対する意識が高めるよう個別の対応や支援を強化する。
- ・国家試験対策用ソフトの活用や国家試験対策補講を強化し、国家試験合格率を向上させる。
- ・入学試験時点からの対応や学習等のきめ細やかなサポートを行うなど学生生活を充実させ、退学者の減少を図る。
- ・卒業生の状況が把握できるよう、卒業生とのコミュニケーションを取れる仕組みを構築し、運用する。

③ 特記事項

特になし。

(5). 学生支援

| 評価項目 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1 | | | |
|--|-----------------------------------|---|---|---|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・保護者と適切に連携しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 | 3 | ② | 1 |

①課題

- ・高等教育の修学支援新制度の対象機関となっており、経済的な支援体制は整っているが、僅かながら経済的理由で学業を継続できない学生もいる。
- ・学生の学生生活等への相談、対応が不足している部分がある。
- ・高校とのキャリア教育の連携が不十分な部分がある。

② 今後の改善方策

- ・奨学金や教育ローン制度の案内等を行い、支援体制を強化する。
- ・早期から学生生活を過ごしやすくできるよう学習以外についても相談等に応じ対応する。
- ・社会人のニーズを把握し、学びやすい環境を整備する。
- ・高校とのキャリア教育に対する連携を強化し、医療福祉への進路希望者を増加させる。

③ 特記事項

特になし。

(6). 教育環境

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|---|-------------------------------|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 (3) 2 1 |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | (4) 3 2 1 |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 4 (3) 2 1 |

① 課題

- ・教育用設備、備品等が経年劣化してきている。

② 今後の改善方策

- ・老朽化している設備、備品について取替更新を行い、教育の質の向上を図る。
- ・PCや動画等を用いて、映像による学習を行うことで、より深く理解を促す。
- ・アクティブラーニング等の授業手法もできるよう学習環境を整える。
- ・先端の医療福祉現場を学べる臨床実習を増やし、質の向上を図る。

③ 特記事項

オンライン授業に対応するため、必要な機器、備品等を整備し快適な学習環境の充実を図った。

(7). 学生の受入れ募集

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|------------------------------|-------------------------------|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか | 4 (3) 2 1 |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4 (3) 2 1 |
| ・学納金は妥当なものとなっているか | 4 (3) 2 1 |

① 課題

- ・少子化や医療福祉への進学者減少の影響で厳しい状況となっている。
- ・本校の特色等が十分に伝わっていないこともある。
- ・社会人や留学生に対する募集活動が不十分である。

② 今後の改善方策

- ・高校教員に対する医療福祉系職業に対する理解を深めるよう高校訪問を強化する。
- ・ホームページや SNS を活用し、学校の情報を適宜発信して認知度を向上させる。
- ・新聞の広告や社会人向けサイトを利用し、社会人を対象にした募集活動を行う。
- ・留学生対象のガイダンスに参加し留学生への認知度を向上させる。

③ 特記事項

新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、新たにオンラインオープンキャンパスを実施した。また、新たな広告として県内のテレビ局において CM を放映し学校についての周知を行った。

(8). 財務

| 評価項目 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1 | | | |
|---------------------------|-----------------------------------|---|---|---|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- ・厳しい募集状況により将来的な経営の安定が不透明である。

② 今後の改善方策

- ・長期的に安定した運営を行えるよう中長期的な経営計画を策定する。
- ・募集対象者の拡大や附帯事業についても検討し、収入の安定化を図る。

③ 特記事項

特になし。

(9). 法令等の遵守

| 評価項目 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1 | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---|---|---|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・自己評価結果を公開しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

① 課題

- ・自己点検・評価の内容について具体的なフィードバックが不十分である。
- ・個人情報保護について、新入職員などの理解が不十分であったり、個人情報の管理意識の低下が見られる場合がある。

② 今後の改善方策

- ・自己点検内容について、全学で共通の認識を持ち、課題の解決を行う組織体制を構築する。
- ・個人情報保護については、意識や理解を深めるために研修を実施する。
- ・学内のネットワークの整備やウィルス対策を万全にし、個人情報の流出を防ぐ。

③ 特記事項

特になし。

(10). 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

本年度は、新型コロナウイルスの影響により、ボランティア活動や社会貢献活動等は、ほぼできなかった。新型コロナウイルスの感染が収束した場合の課題は以下のとおりである。

- ・ボランティア参加者数は全体として年々減少しており、学科により参加者数にばらつきがある。
- ・介護福祉学科の教育訓練制度以外の公開講座等を行っていない。

② 今後の改善方策

- ・関係団体や地域に対し、開かれた学校としてより一層施設提供などを行っていくことで地域貢献を繋げる。
- ・ボランティア活動の意義ややりがいを理解させ、興味を持たせることで、積極的に参加する学生を増やす。
- ・公開講座を企画し、地域に根差した学校を目指す。

③ 特記事項

特になし。

(11). 国際交流

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持っているか | 4 (3) 2 1 |
| ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか | (4) 3 2 1 |
| ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか | (4) 3 2 1 |
| ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか | 4 (3) 2 1 |

① 課題

- ・日本語学科においては、志願者は多かったが、在留資格の認定が非常に厳しく、ネパール4名とブラジル1名の在留資格の認定に留まった。また、新型コロナウイルスの影響により、ネパール4名の留学生は日本に入国できていない。

② 今後の改善方策

- ・在留資格の交付率は国によって異なるため交付率の高い国の留学生の受入れや新規エージェントの開拓を推進する。
- ・留学生ガイダンスなどに参加し、学校の認知度を向上させる。
- ・留学生を対象とした広報媒体等を作成する。

③ 特記事項

新型コロナウイルスの影響により、在留資格は認定されても来日することが大変難しい状況が続いている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今回の自己点検・評価を行い、今後の具体的な課題や改善点などが明確となった。

募集活動については、少子化、医療福祉系進学者の減少、高校生の就職率向上、大学進学傾向等の影響で大変厳しい状況となっている。また、新型コロナウイルスの影響の為、対面での募集活動を行うことが難しい状況でもある。中長期的に安定した学校運営を行っていくためには、これまでのようにインスタグラム等のSNSを活用した募集活動を強化することやオンラインオープンキャンパスの実施することに加えてホームページ及びパンフレットの全面的なリニューアルを行うことで認知度を向上させる。また、社会人や留学生を対象とした具体的な対策が求められる。既存の学科について募集対象者を広げながら、新しい事業展開も視野に入れた中長期計画を策定していくことで学校運営の安定化を図る必要がある。

教育活動については、多様化する学生の対応が必要となっている。大学等からも基礎的教育の必要性が叫ばれる中で、入学前教育、初年次教育の重要性はますます大きくなっている。読み書きや計算など基本的な学力の向上を基盤とし、専門教育を行っていく必要があり、学習の理解度や技術の習得度を個別に把握し、対応していくことが必要である。また、急速に進む医療福祉現場や人工知能導入に伴う労働の変化に対応できるよう将来を見据えた教育活動も行っていくことで、教育の質の向上を図る。実習先や就職先との連携も深め、医療福祉の最先端の情報や技術を取り入れ、学ぶ機会を提供できるよう学習環境を整えることも重要である。また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、オンライン授業の充実を図っていく。その他、就職支援や実習の充実、国家試験対策なども強化し、教育の質を向上させる。

法人運営については、安定的な財務基盤を維持しながら、時代や社会のニーズに合わせた学校づくりとして、10年先を見据えながら学校運営を行うことが重要である。教員だけでなく、職員のスキル向上を図り、全体的な能力を向上させ、質の高い教育サービスの提供ができる環境を整えることが必要となっている。新型コロナウイルスの感染状況の予測が立たない中でも、感染症の万全な予防対策を実施し、安心安全な学校運営を行っていく。

以上